

消臭・除菌力に優れた安定化次亜塩素酸水

# バイカット S

バイカットSを使用した  
院内感染発生時の対策





# 骨子

---

- はじめに
- 一般的な殺菌剤の問題点
- バイカットSの特徴とすぐれた効果
- バイカットS除菌データ
- バイカットSの高い安全性
- バイカットSを使用した対策案

# はじめに

院内感染発生時は、感染した菌やウイルスによって対応は異なりますが、感染拡大を防止することが最も重要であると考えます。

その対策として、優れた除菌効果と高い安全性が実証されている「バイカットS」のご使用をお勧めします。

## ・バイカットSの3大特徴

除菌

安全

消臭



## ●バイカットSとは？

殺菌剤として一般的な次亜塩素酸ナトリウムはプールや水道水、食品産業や医療分野に使用されてきました。しかし、カルキ臭や塩素ガスの発生、取り扱いが危険などの欠点があります。また、pH12以上の強アルカリ性で、希釈しpH8前後の希釈次亜水にしなければ殺菌効果が得られず、希釈次亜水では、バイカットSの1/8程度の殺菌効果しかありません。このような次亜塩素酸ナトリウムの欠点を無くし、利点のみを引き出したのが安定化次亜塩素酸水「バイカットS」です。ほとんど無臭で、塩素ガスの発生も無く、直接肌に触れても人体に殆ど影響を及ぼすことが無いので安心です。バイカットSは、pH6.5の弱酸性水で、安全性と環境負荷が小さいため、さまざまな分野に活用いただけます。

# 一般的な除菌剤の問題点

医療機関では、一般的に次亜塩素酸ナトリウムが使用されてきました。しかし、次亜塩素酸ナトリウムの使用には以下の問題点があります。

## 危険性

次亜塩素酸ナトリウムはpH12以上の強アルカリ性で、pH8前後に希釈しなければ殺菌効果が得られません。その際、皮膚などに付着してしまった場合、肌荒れなどをおこす危険性があります。また、有害な塩素ガスやカルキ臭の発生という欠点もあります。

## 難易性

次亜塩素酸ナトリウムは強力な脱色効果があり、また金属などに対する腐食性も非常に高いため、場所によっては使いづらいアイテムです。

## 劣化性

次亜塩素酸ナトリウムは濃度が濃いほど劣化が早く、保存状態にもよりますが、1ヶ月で数%落ちる場合もあります。そのため、希釈溶液を作る際、塩素濃度測定器がなければ正確な管理ができません。

# バイカットSの特徴とすぐれた効果

## 安全性

バイカットSは特許技術により、pHを6.5に安定させることが可能になりました。そのため、直接肌に触れても人体に殆ど影響を及ぼすことはありません。また、ほとんど無臭で塩素ガスの発生も無いので、安心してご利用いただけます。

## 利便性

バイカットSはpH値が安定しているため、長期的な保存が可能です。  
(遮光下6ヶ月以上)  
また、色落ち、錆等の発生も非常に小さくなります。

## 除菌効果

バイカットSはその安全性にもかかわらず、強力な除菌力を発揮いたします。アルコールや塩化ベンザルコニウムなどでは殺菌が難しいネコカリシウイルス（ノロウイルス代替）も死滅させます。  
**除菌効果は希釈次亜塩素酸ナトリウム水の約8倍、除菌スピードは約80倍にもなります。**

## 消臭効果

バイカットSは優れた除菌力に加え、その消臭力も高く、たばこや生ごみの臭い、加齢臭や香水、口臭やペット臭にも幅広く消臭力を発揮いたします。

# バイカットS除菌データ

## 抗菌作用試験結果①

バイカットSは優れた除菌効果除菌効果を実証されています。

| 対象                      | 試験結果    |
|-------------------------|---------|
| ネコカリシウイルス<br>(ノロウイルス代替) | 99.9%抑制 |
| インフルエンザウイルス             | 99.8%抑制 |
| O-157                   | 99.9%抑制 |
| 黄色ブドウ球菌                 | 99.9%抑制 |



・バイカットSの効果  
((財)日本食品分析センターによる)

## 抗菌作用試験結果②



大腸菌試料液

アルコール70%

バイカットS

- バイカットS : 濃度50ppm pH=6.5による検査データ
- 大腸菌試料液1mlをシャーレに添付後、アルコール70%とバイカットS 50ppmを噴霧し24時間培養の結果

試験結果をご覧いただいても分かる様に、アルコール70%の場合では100%の除菌が行われていない事が明確です。

# バイカットSの高い安全性

除菌剤を使用する上で心配なのが人に対する安全性です。

巷で販売されている「殺菌剤」や「消毒剤」の中には、人に対して悪影響を及ぼすものも少なくありません。

バイカットSは動物安全性試験において高い安全性も実証されています。

| 効果              | 試験依頼先              | 試験結果      |
|-----------------|--------------------|-----------|
| 眼刺激性試験          | (財)日本食品分析センター      | 無刺激物      |
| 急性経口毒性試験        | (財)食品農医薬品安全性評価センター | 毒性は極めて弱い  |
| 皮膚一次刺激性試験       | (財)日本食品分析センター      | 無刺激性      |
| 全身吸引暴露による急性毒性試験 | 三菱化学メディエンス株式会社     | 変化は認められない |

## 一般的な除菌剤との比較

| 除菌水名   | バイカットS                                 | 次亜塩素酸ナトリウム水                     | アルコール                              |
|--------|--|---------------------------------|------------------------------------|
| 安全性    | ○<br>塩素ガスの発生なし<br>手荒れのない除菌が可能          | △<br>残留性が高く、高濃度では人体・食品・環境に悪影響   | △<br>脱脂作用による手荒れなどの可能性があることに注意      |
| 施設への影響 | ○<br>有機物(菌)と接触すると水に戻るの<br>で、排水施設にも影響なし | △<br>塩素成分が残留し、排水施設に悪影響<br>腐食性も大 | △<br>揮発性のため影響なし<br>プラスチック・ゴムの劣化に注意 |
| 食品への影響 | ○<br>なし                                | △<br>塩素成分が残留し、味・香りに悪影響          | ○<br>なし                            |

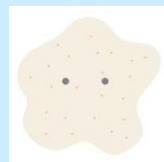
## バイカットSを使用した対策案 (噴霧器による空間除菌)

噴霧器による空間除菌をお勧めします。

空気感染対策として、人が集まる場所での噴霧器による空間除菌をお勧めします。

スプレーするだけでも十分除菌効果は得られますが、室内に噴霧器を設置し、常時バイカットSを空間に噴霧することにより、室内の隅々まで除菌・消臭が行えます。

大腸菌やノロウイルスはもちろん、インフルエンザや風邪などの感染予防、花粉・ダニなどのアレルギー対策にも効果を発揮します。





# バイカットSを使用した対策案 (汚染場所の徹底清掃)

嘔吐物の処理手順です。(ノロウイルスの場合)



## ① 嘔吐物から離れます

嘔吐物は広範囲に飛散します。飛沫感染の恐れがありますので、少なくとも嘔吐物より3m以上離れてください。

## ② 使い捨て手袋・マスクを着用します

処理者が感染しないためにも、必ず着用してください。

## ③ 嘔吐物及び周辺にバイカットSを十分に噴霧します

データ上、失活化まで約10分を要するため、10分間は放置してください。この時、飛散を避けるため、新聞紙等のカバーをかけてください。

## バイカットSを使用した対策案 (汚染場所の徹底清掃)

④ 10分経過後、嘔吐物を使い捨てのタオル等で拭き取り、タオルごとビニール袋に入れ、バイカットSを噴霧し密封します

タオルからの感染も考えられますので、必ず処分してください。

⑤ 処理後、嘔吐物のあった箇所及び周辺に、再度バイカットSを噴霧します

その際、処理者の着用している衣服や、履物の裏側へも噴霧してください。

⑥ 処理後は必ず手洗い及びうがいを実施します

手洗い後にバイカットSを吹きかけます。

**処理中・処理後は窓を開ける等、換気を十分に行いましょう。**

# バイカットSを使用した対策案 (その他)

以上の対策案を実施した上、以下の方法も合わせて実施することをお勧めします。

## ① 隔離

- 感染者の個室隔離を行う。
- 共有スペースが汚染した場合、可能な限り広範囲の立ち入りを制限し、マスク等着用の上で除菌を行う。
- 体調不良を訴えている職員様は、早急な検査を実施。

## ② 警戒

- 手の触れる箇所の除菌。
- 共有スペースの除菌。
- 職員様全員での情報の共有。